

The background of the entire page is a soft-focus photograph of several hands of different skin tones reaching up to hold a large, multi-colored ball. The colors of the ball include shades of red, orange, yellow, green, and blue. The hands are positioned in a way that suggests a collective effort or support.

進化！ 深化！ 新化！

子供たちの「育ち」を

確かめ合いながら進める

コミュニティ・スクール

きのくにコミュニティスクール推進フォーラム

日時：令和2年 **2月9日**（日）10:00～

場所：和歌山県立情報センターBig・U（田辺市新庄町3353-9）

主催／和歌山県教育委員会・和歌山県

オープニング 10:00～10:20 【「育ち」の姿を見る】

児童による活動発表 すさみ町立江住小学校

地域の偉人「南弥右衛門」の生涯を描いた劇を子供たちが披露してくれます。

講演 10:30～11:45 【「育ち」について考える】

「子どもたちは幸せになるために生まれてきた ～全ての大人たちが子どもたちのために手をつなぎましょう～」



講師：熊丸 みつ子 氏（幼児教育研究者・子育てアドバイザー）

「先生の話をお聴いたらすごく気持ちが楽になった。」

「背負い込んでいた重荷がなくなった。」

「子供は幸せになるために生まれてきた。悩めることは素敵なこと。

子供のことも自分の事も大切にしたいくなる内容でした。」

熊丸先生の御講演をお聴いた方の感想です。当日も**熊丸節**が炸裂します！

パネルディスカッション 12:45～14:15 【「育ち」が生まれる仕組み】

「地域のみんがが主役！ ～学校と地域が一体となって取組を推進するために～」

コーディネーター：相田 康弘 氏（山口県教育庁義務教育課）

パネリスト：道本 美月 氏（和歌山市立宮北小学校 校長）

山本 茂雄 氏（一般社団法人 和歌山経済同友会 事務局長）

宮本 朋子 氏（有田市社会福祉協議会 上席主任）

小林 賢司 氏（北山村青年会 会長）

分科会 14:30～16:00 【「育ち」を創り出す】

「コミスクが創り出す「育ち」について4つの分野から考える」

第1分科会 **学校** ～子供たちの力をさらに伸ばす学校運営～

第2分科会 **企業** ～地元企業の力が子供たちの可能性を広げる～

第3分科会 **福祉** ～少子高齢化社会を生きることから学ぶ～

第4分科会 **地域** ～子供の育ちを支える地域の力～

お問い合わせ

県教育庁生涯学習課

TEL 073-441-3721 FAX 073-441-3724

※ 申込等詳しくは上記までお問い合わせください。

きのくにコミュニティスクール
ヒント集を配布します